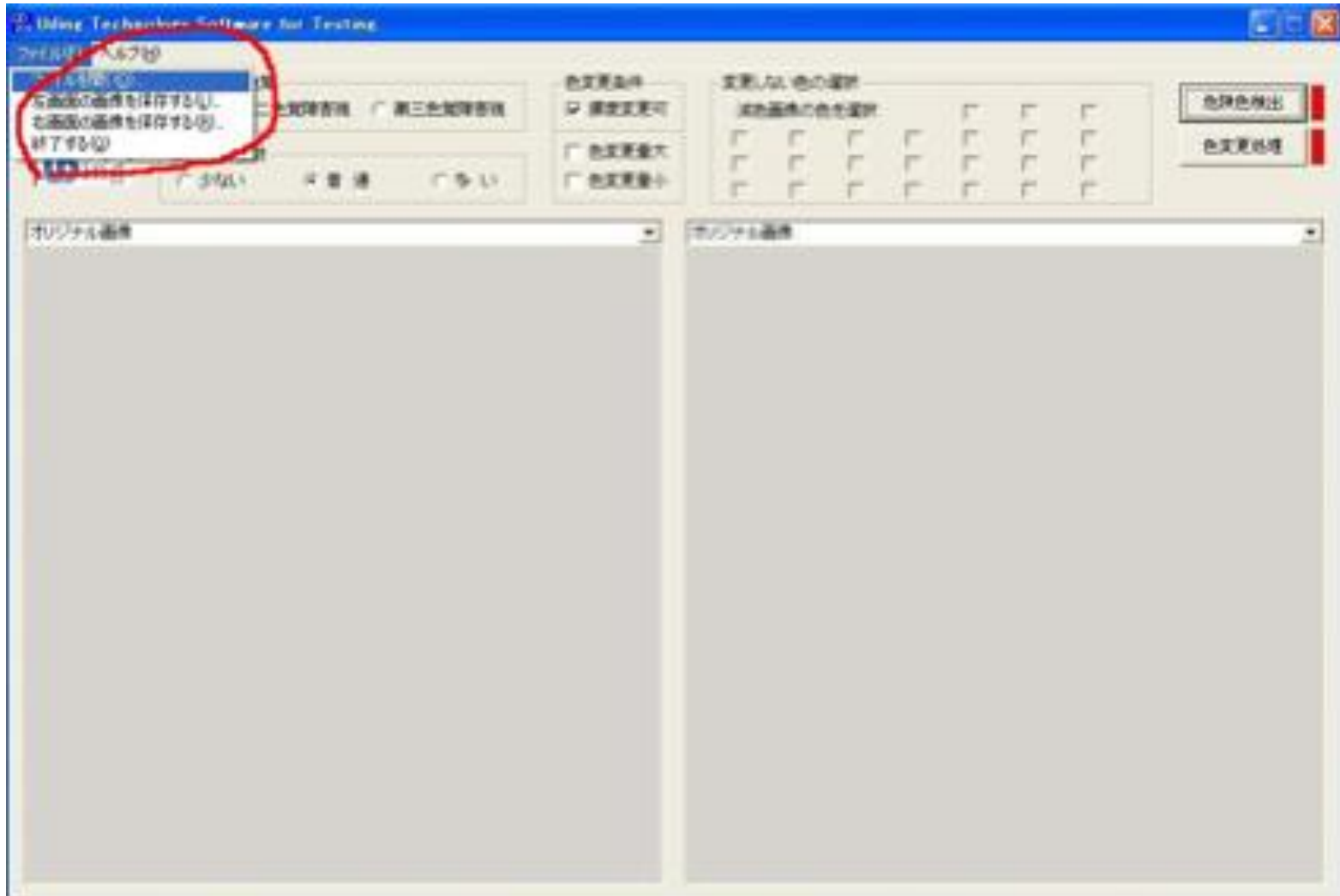


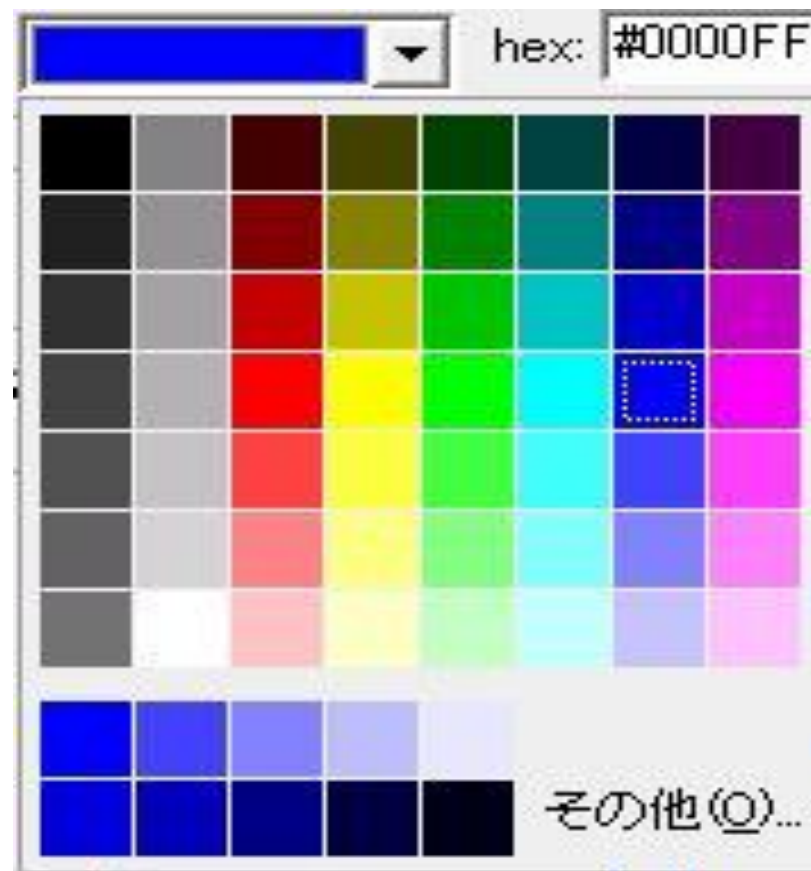
カラーユニバーサルデザインに 関する研究

～セルフメディケーション及び医療環境の観点より～

UDing シュミレーター



カラーコントラストアナライザー



1.OTC医薬品パッケージの背景色と記載文字色のCUD

- ・ベンザ[®]ブロック(IP,L,S)
- ・アリナミン[®](A,EX)

2.医療環境における色分けされた情報

- ・廊下の案内用矢印
- ・病院内配置図

一般色覚

P型色覚

D型色覚



	一般色覚	P型色覚	D型色覚
色差	332	344	334
明度差	86	88	83

一般色覚



P型色覚



D型色覚



	一般色覚	P型色覚	D型色覚
色差	567	571	568
明度差	191	191	190

一般色覚



P型色覚



D型色覚



	一般色覚	P型色覚	D型色覚
色差	568	563	544
明度差	205	198	187

一般色覚



P型色覚



D型色覚



	一般色覚	P型色覚	D型色覚
色差	461	503	436
明度差	157	161	128

一般色覚



P型色覚



D型色覚



	一般色覚	P型色覚	D型色覚
色差	461	503	436
明度差	157	161	128

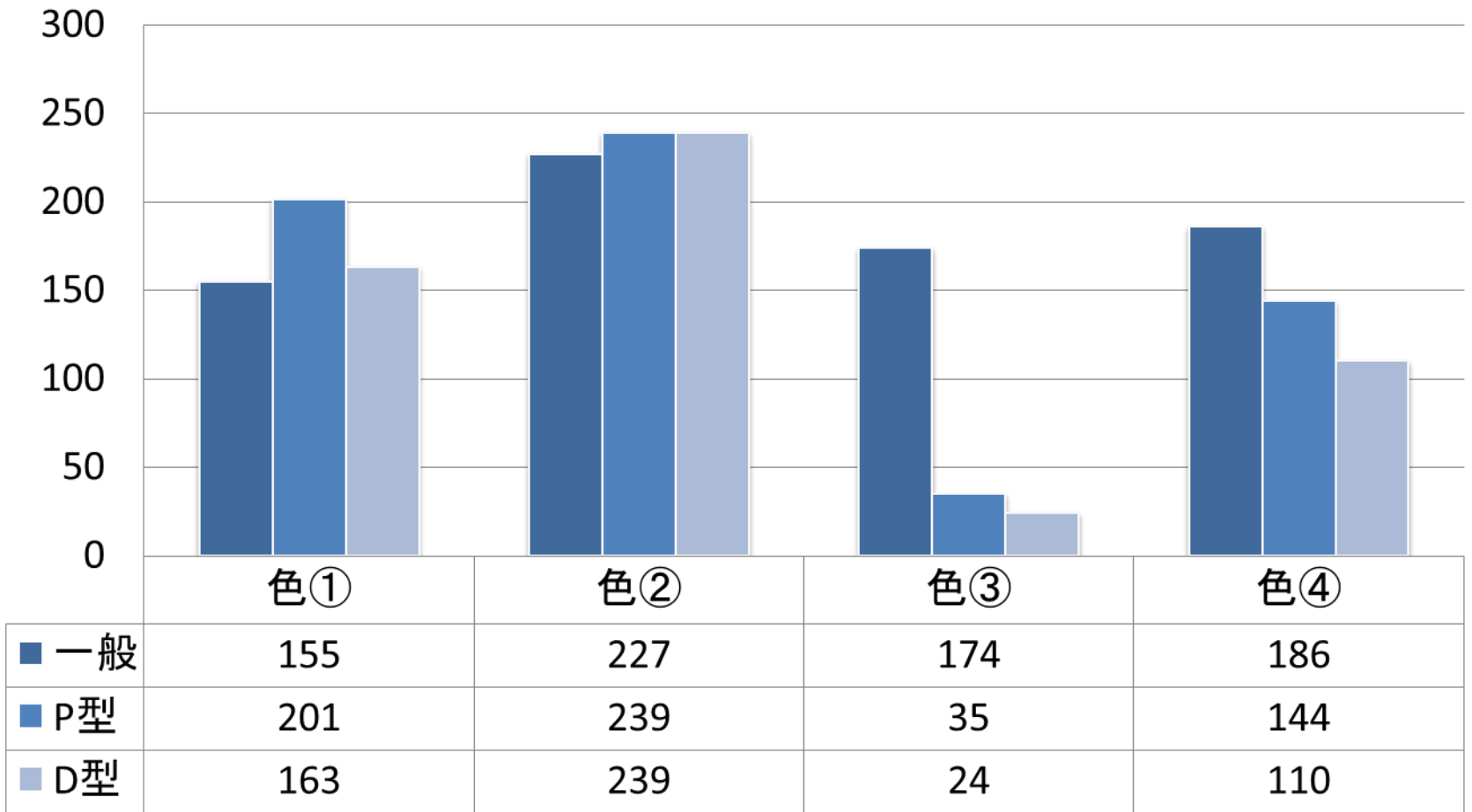


P型色覚

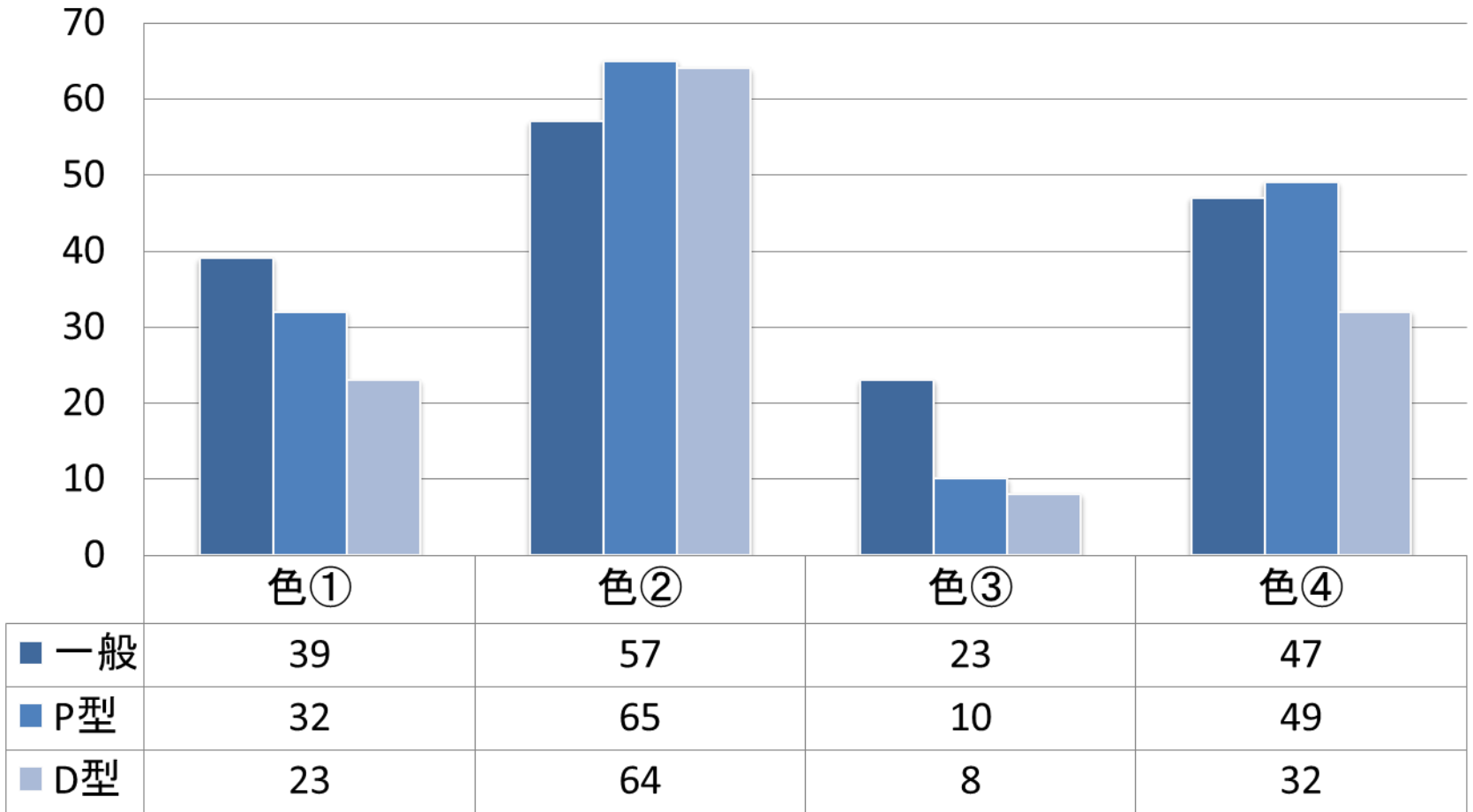


D型色覚

色差



明度差



問題点と改善案

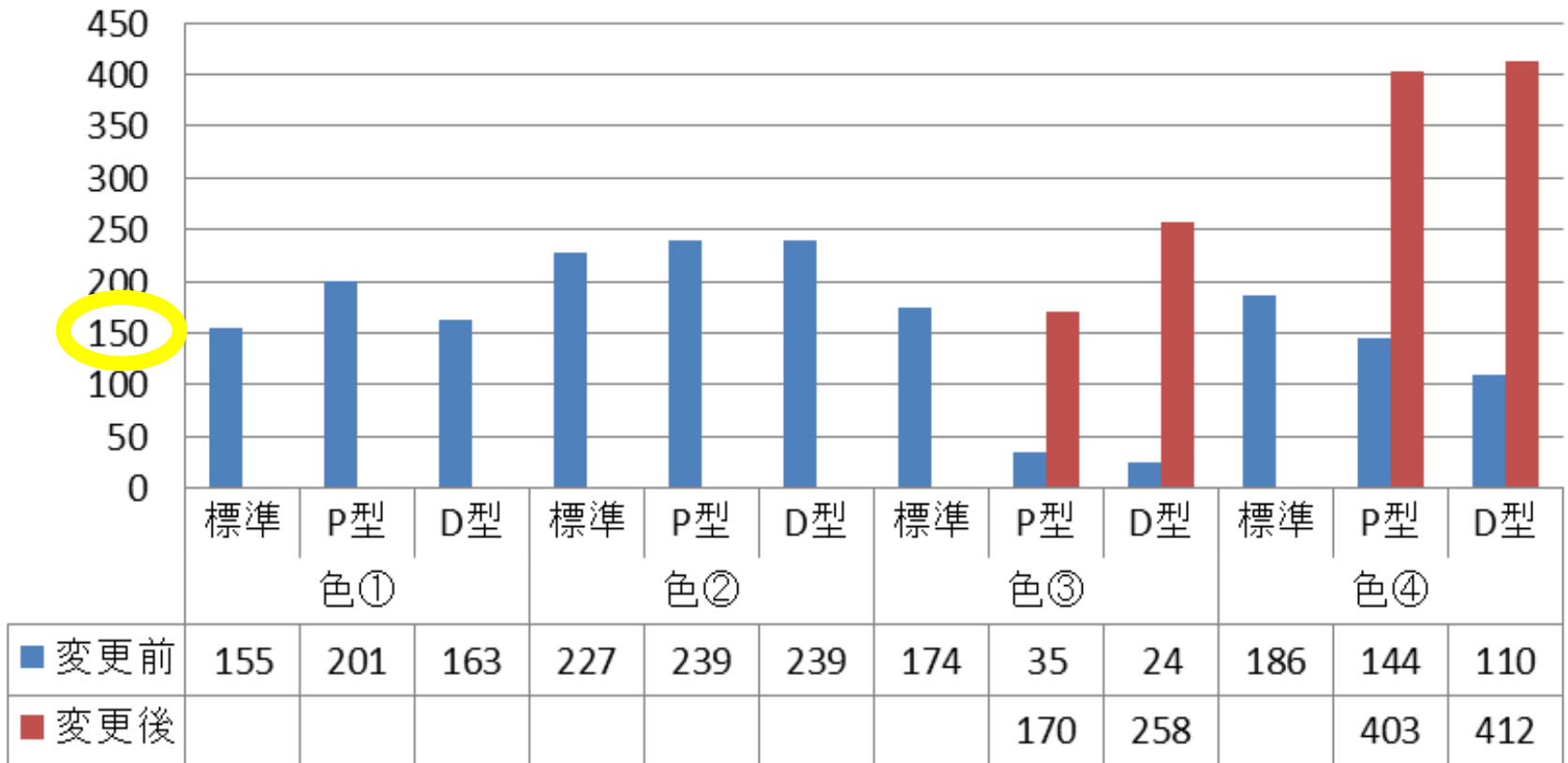
- ・色③、色④が見えづらい(色差、明度差が十分でない)

- UDingシミュレーターにより、色変更処理を行い、十分な色差、明度差を確保する

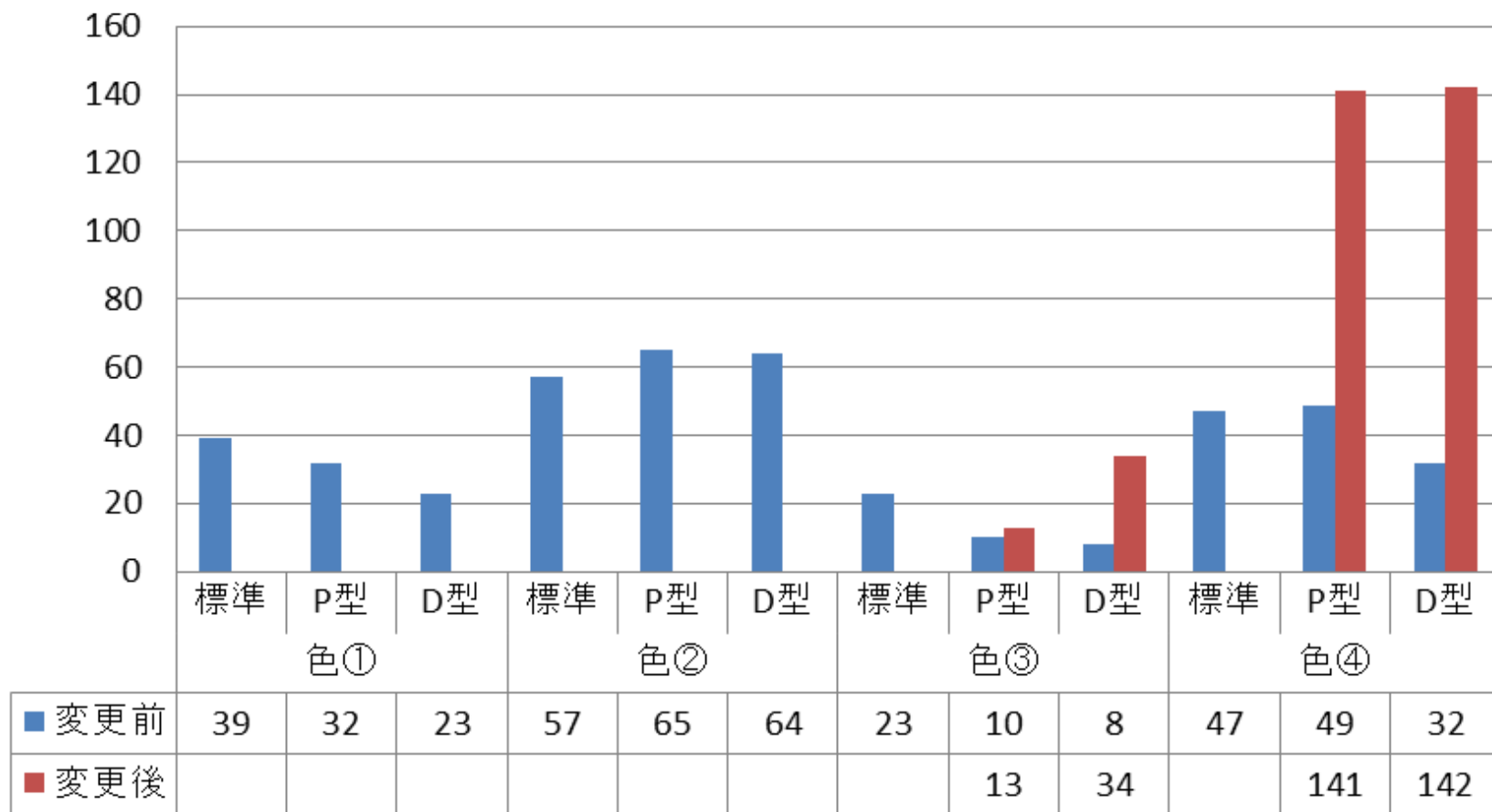
- ・P型、D型色覚者は色名から色を判断することが困難である

- 矢印の横に色名を付記する

色差



明度差

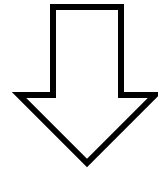


CUDを導入する際のポイント

1. P型、D型色覚者にも見分けやすい色を選択する
2. 背景色と前景色との間の色差、明度差を十分に確保する
3. 枠取りや輪郭線を活用する
4. 図やパッケージには情報を多く載せすぎず、すっきりとまとめる

課題と展望

- ・CUDはP型、D型色覚者だけを対象としているわけではない
- ・色覚障害は病気や異常ではなく、人類の多型、多様性の一つである



これからの超高齢社会、多様化社会においてCUDの広い分野でのより多くの活用が強く望まれる